

令和6年第1回姫路市議会定例会（未定稿）

令和6年2月29日（木）

○牧野圭輔議員（登壇）

改革無所属の会の牧野圭輔です。

早速ですが、通告に基づき、以下3項目について質問します。

第1項目として、姫路市立3高校の統合に関連した「姫路市長選・高校生ミーティング」における市長発言及び学校用地について、この項目の質問内容については、令和5年9月に開催された第3回定例会にてただしてありますが、その答弁の中で不明確な点も含め、改めて質問します。

投票ができる選挙権年齢が18歳に引き下げられて7年になりました。しかし、投票率だけで見てみますと、10代、20代は他の世代に比べて低迷しています。どうしてなのでしょう。

「暮らしに身近な姫路市のリーダーを決める市長選が近づいています。日頃の生活で感じている疑問などを、ぜひ立候補予定者にぶつけてもらい、市政や政治との距離が僅かでも縮まるきっかけになればと思っております。」との司会者の挨拶で、令和5年4月の姫路市長選挙を前に、高校生が立候補予定者にまちの将来を尋ねる市長選ミーティングが、神戸新聞社主催で、市長選の直前となる令和5年3月30日に、県立姫路東高校の協力を得て開催され、その映像は現在もYouTubeで見ることができます。

そして、その中で、当時から姫路市立3高校の統合先として取り沙汰されていた旧市場跡地の買収などに関する高校生からの質問に対し、清元市長の答弁は、「旧市場が予定地とは限っていないんです。手柄地区についていうことで、たまたま借地として半分あるところを、何に使うんですかということだったら、あそこを使いましょうかということで、駄目だったら文化センター跡地ですが。」との発言について、公式な見解であるかただしたところ、担当局長からは、「所管する教育委員会事務局で現在検討中であり、決定に至っていないと聞いております。」との答弁の後、併せて教育長からも、「現在、教育委員会で検討中で、決定に至っておりません。」との答弁がありましたが、昨年9月の時点で、この市長発言のどの部分について検討されていましたか。また、現在、その検討状況についてお答えください。

以上を私の第1問とします。

○三輪敏之議長

平田教育次長。

○平田貴洋教育次長

旧中央卸売市場跡地について、市長発言のどの部分について検討したかについてですが、これは令和5年第3回定例会の本会議においての発言であると認識しておりますが、その前の令和5年第2回定例会の本会議において、将来の新校舎を旧中央卸売市場跡地に建設する旨の答弁を行い、また、同定例会の文教・子育て委員会において、旧中央卸売市場跡地を新校舎の建設とするため、今後、用地取得を進めていきたいとする内容の報告を行っております。

その第3回定例会時におきましては、旧中央卸売市場跡地の用地取得に向けた検討を行っており、具体的内容については決定していない状況であったと認識しております。

なお、現在の検討状況につきましては、このたびの新年度予算において、当該用地取得に係る経費を計上させていただいております。

本定例会において、予算の議決をいただいた後、地権者の方々へ丁寧に説明を行い、速やかな用地取得に努めていきたいと考えております。

以上でございます。

○三輪敏之議長

15番 牧野圭輔議員。

○牧野圭輔議員

文化センター跡地は検討されたんですかね。

○三輪敏之議長

平田教育次長。

○平田貴洋教育次長

先ほど申し上げましたとおり、第2回の定例会において、新校舎を中央卸売市場跡地に建設する旨の答弁を行っており、そこで決定したということでございます。それに要する土地の取得の方策であるとか、そういったことについて引き続き検討していたという状況でございます。

以上でございます。

○三輪敏之議長

15番 牧野圭輔議員。

○牧野圭輔議員

文化センター跡地を検討された経緯はありますか。

○三輪敏之議長

平田教育次長。

○平田貴洋教育次長

至った経緯ということにつきましては、当初より市場跡地ということを候補地の第 1 として検討してきたということでございます。

以上でございます。

○三輪敏之議長

15 番 牧野圭輔議員。

○牧野圭輔議員

続けて、清元市長は、「市立 3 高校を統合する問題は、これは行政の経済的な問題よりも、生徒ファーストから出た結論です。10 年先を見据えてちゃんと質を担保するためにも、18 クラスを 12 クラスに維持して、きちっとした学園生活を送れるっていう統合がファーストにあって、場所が手柄になっている。」との発言について、公式な見解であるかただしたところ、担当局長からは、「所管する教育委員会事務局で現在検討中であり、決定には至っておりません。」との答弁でしたが、昨年 9 月の時点で、この市長発言のどの部分について検討されておりましたか。

また、現在の検討状況についてお答えください。

○三輪敏之議長

平田教育次長。

○平田貴洋教育次長

公立高等学校の募集人数につきましては、兵庫県教育委員会において、学区ごとの中学校を卒業する生徒見込数に基づき、調整されております。

統合新設校のクラス数につきましては、当時から県教育委員会と協議を続けており、今後公表していきたいと考えております。

以上でございます。

○三輪敏之議長

15 番 牧野圭輔議員。

○牧野圭輔議員

令和 5 年 2 月には、姫路市立高等学校在り方方針というのが出てまして、市長自身も、市教委が 8 から 10 という適正規模というのを理解してたと思うんですが、なぜ 12 クラスっていう発言があったんですかね。

○三輪敏之議長

平田教育次長。

○平田貴洋教育次長

市長の発言ということですが、市長からは、私がお伺いしたところによりますと、今現在 6 クラス、3 校 18 クラスでございます。

ただ、今の減少社会を見据えますと、人口が現在出生数から見ますと、18 クラスから 12 クラスぐらいまでの人口減少があったという、そういう規模感といいますか、そういったことを、高校生たちに、今これだけ子どもたちが減少しているんですよっていうところを、そういった規模として、1つの目安として、ご説明していただいたというふうに伺っております。

以上です。

○三輪敏之議長

15 番 牧野圭輔議員。

○牧野圭輔議員

また、統合後の市立 3 校の跡地の活用について、清元市長からは、「飾磨高校は女子高なので、規格が高校じゃなくて、中学校サイズなんです。ちょっと使いづらい。だから結局、除却するしかない。で、古いものは除却して、地域の公園にしたりとか、パルナソスホールは音楽ホールとして使っていく。で、実は、琴丘も飾磨高校も急傾斜地指定を受けて、崖崩れの危険性地域が入っているの、その部分はもう使えないということが分かっているの、校舎移転するしかないと思います。まあ、そう言ったところで、市民の皆さんとか、スポーツグラウンドとか、今、非常に建物じゃなくても、ニーズのある市民生活に活用していく。それから、それぞれのコースは、統合した 12 クラスの中にちゃんと国際とか英語とか社会福祉のことを勉強できるコースを残していくという形。併せて、音楽とか芸術もあったらいいなと思います。」との発言について、公式な見解であるかただしたところ、担当局長からは、「所管する教育委員会事務局で現在検討中事項であり、決定には至っていないということでございます。」との答弁でしたが、昨年 9 月の時点で、この市長発言のどの部分について検討されておりましたか。

また、現在の検討状況についてお答えください。

○三輪敏之議長

平田教育次長。

○平田貴洋教育次長

どの部分について検討していたのかについてでございますが、市立高校を再編して設置する統合新設校のカリキュラムの内容について、検討していたものでございます。

なお、現在の検討状況につきましては、統合新設校では単位制の導入を検討しており、多様な選択科目を設定する中で、これまでの 3 校の学科コースで実践されてきた学び

を発展的に引き継いでいきたいと考えております。

また、跡地利用の検討に当たりましては、令和10年3月まで生徒が在籍しているということに十分配慮しながら進めていく必要がございます。

両校の土地のそれぞれの立地や特性などを十分に考慮しながら、まずは庁内利用から検討し、幅広い活用方法について検討してまいります。

以上でございます。

○三輪敏之議長

15番 牧野圭輔議員。

○牧野圭輔議員

この発言の中で、市長自身は、琴丘と飾磨高校を指して、急傾斜地指定のことを取り上げてるんですけども、ここについての考え方について、訂正とかはしなくていいですか。

○三輪敏之議長

平田教育次長。

○平田貴洋教育次長

急傾斜地等については、現実としてそういった地域にあるということは、それは事実でございます。

ただ、市長発言としましては、あえてそこを、場所に新設校を持っていく必要がないというふうな趣旨でご発言されたのかなというふうに思っております。

以上です。

○三輪敏之議長

15番 牧野圭輔議員。

○牧野圭輔議員

この発言どおり、急傾斜地指定、いわゆる土砂災害警戒区域とか土砂災害特別警戒区域で駄目だと言うんですから、これ、琴丘と飾磨高校を入れて、市内には9施設、学校園等が対象になっています。

しっかりとそこについては、教育委員会からも市長にヒアリングをしていただきたいと思っております。

質問を続けます。

旧中央卸売市場跡地を学校用地とすることについて、令和4年度中に方針決定ができなかった理由についてお答えください。

○三輪敏之議長

平田教育次長。

○平田貴洋教育次長

地権者の皆様に対しまして、令和4年12月から翌年2月にかけて説明会を実施し、意向調査を実施するなどの取

組を進めてまいりました。

令和4年9月の段階では、令和4年度末をめどに方針を決定したいとしておりましたが、意向調査の内容や現状整理など、もう少し丁寧に検討する必要があったことから、方針決定を令和5年4月以降としたものでございます。

以上でございます。

○三輪敏之議長

15番 牧野圭輔議員。

○牧野圭輔議員

結果として、令和5年第2回定例会において、旧卸売市場跡地を学校用地とする方針が示されましたが、その方針が最終決定したのはいつですか。

併せて、決定に至るまでの経緯を時系列でお答えください。

○三輪敏之議長

平田教育次長。

○平田貴洋教育次長

旧中央卸売市場跡地を学校用地として用地取得を進めていく方針の最終決定については、令和5年5月でございます。

その後、令和5年第2回定例会において市長が説明した後、同定例会の文教・子育て委員会において報告を行っております。

決定に至るまでの経緯につきましては、令和4年12月から翌年2月にかけて地権者説明会を開催し、その後、実施した意向調査などを踏まえながら総合的に判断し、最終的には令和5年5月の経営会議において決定を行ったものでございます。

以上でございます。

○三輪敏之議長

15番 牧野圭輔議員。

○牧野圭輔議員

選挙が終わった後、すぐに結論が出たということですね。質問を続けます。

新たな高等学校設置に当たり、学校用地の面積などについて、法で定められた基準などはありますか。

併せて、旧中央卸売市場跡地、約5万8,400平米全てを学校用地として活用する必要性について、お答えください。

○三輪敏之議長

平田教育次長。

○平田貴洋教育次長

学校用地の面積につきましては、高等学校設置基準により、校舎や運動場の面積の最低基準が定められております。また、校舎に備えるべき施設や運動場、体育館などを設置することが定められております。

しかし、これらはあくまでも最低基準でありまして、施設の水準の向上を図ることに努めなければならないともされております。

また、本市の未来人材を育成する新しい市立高校としての取組を積極的に進めていくための機能、施設を備える必要があるものと考えております。

このことから、市場跡地全体を使用した上での学校建設計画を進めたいと考えております。

以上でございます。

○三輪敏之議長

15番 牧野圭輔議員。

○牧野圭輔議員

最低基準でやったら、どのぐらいあればいいんですかね、高等学校は。

○三輪敏之議長

平田教育次長。

○平田貴洋教育次長

クラス数によっても違ってきます。

その最低基準というのが校舎の面積でございまして、これは延べ床になりますので、延べ床ですので、敷地面積というのは少しちょっとまた違う考え方にはなってくるかと思いますが、例えば今、8から10クラスということで検討しておりまして、例えば8クラスですと校舎の面積は5,280平米になります。

それと運動場の面積が8,400平米以上ということになりますので、校舎の延床面積と運動場の面積を仮に単純に足しますと、1万3,688クラスで、そういった規模になると。またこれは校舎が平屋だった場合ということにはなるかと思いますが、そういった規模であるかと考えております。

以上です。

○三輪敏之議長

15番 牧野圭輔議員。

○牧野圭輔議員

5万8,400との差を非常に感じるんですけども。

私の、神戸でしたけども母校も、1万7,000足らずの平米数だったと記憶しております。

質問を続けます。

学校用地に必要な面積については、これまで本会議などにおいて、手柄山周辺のスポーツ施設などとの連携を強調される旨の答弁があることや、取得には多額の費用を伴うため、必要最小限に抑える検討が必要であると思いますが、お考えをお答えください。

○三輪敏之議長

平田教育次長。

○平田貴洋教育次長

手柄山周辺施設の活用につきましては、部活動や行事等において活用することを検討しており、日々の授業などの学校活動については、基本的には学校で実施することが必要であり、基本であると考えております。

また、ある程度大規模な学校となりますことから、校地面積も必要であるとも考えております。

こういったことから、今後具体的な施設配置等を計画してまいります。1校となる市立高校としての教育活動をしっかりと進められる学校内容とするため、現時点において、旧中央卸売市場跡地の取得面積を抑えるということは考えておりません。

以上でございます。

○三輪敏之議長

15番 牧野圭輔議員。

○牧野圭輔議員

何となく、その大きな学校ということで、イメージだけは先行してしまっているように思います。

質問を続けます。

学校用地の買収交渉には、学校設置運営上不可欠な部分など優先順位はありますか、お答えください。

○三輪敏之議長

平田教育次長。

○平田貴洋教育次長

先ほども答弁いたしましたとおり、高等学校設置基準により、最低基準となる校地面積や必要となる施設が定められております。

また、本市の目指す市立高校づくりを進めていくためには、絶対不可欠、優先順位といった部分的な考えは持っておりません。

以上でございます。

○三輪敏之議長

15番 牧野圭輔議員。

○**牧野圭輔議員**

これも例えば、産業道路に面してる部分は絶対必要やと思うんですね。そこに面してないところは必要じゃない場合も出てくると思うんですけど、ちょっとその答弁はいかがなもんかと思います。

質問を続けます。

旧中央卸売市場跡地には、現在に至るまで、延べ、総額幾ら借地料が支払われてきましたか、お答えください。

○**三輪敏之議長**

平田教育次長。

○**平田貴洋教育次長**

旧中央卸売市場跡地の借地料につきましては、昭和 28 年度から今年度までに約 69 億円を支出している状況であると聞いております。

以上でございます。

○**三輪敏之議長**

15 番 牧野圭輔議員。

○**牧野圭輔議員**

質問を続けます。

一方、旧中央卸売市場跡地のうち、既にこれまで市場用地として取得してきた面積及び費用についてお答えください。

○**三輪敏之議長**

平田教育次長。

○**平田貴洋教育次長**

市場用地の里道や水路などを除き、これまで市場用地として購入してきた面積につきましては、約 1 万 6,600 平方メートル、取得費用は約 11 億 8,000 万円と聞いております。

以上でございます。

○**三輪敏之議長**

15 番 牧野圭輔議員。

○**牧野圭輔議員**

すごい金額は続くんですけども、質問を続けます。

今後、学校用地として取得予定の面積及び令和 6 年度予算ベースで取得に係る事業費の総額についてお答えください。

○**三輪敏之議長**

平田教育次長。

○**平田貴洋教育次長**

旧中央卸売市場跡地の民間所有地については、3 万

6,803.19 平方メートルでございます。

また、事業費につきましては、令和 6 年度予算において、歳出予算で用地取得に係る経費 4 億 7,190 万円を、債務負担行為で令和 7 年度の支出予定額として上限額 39 億 8,630 万円をそれぞれ計上しております。合わせますと、44 億 5,820 万円でございます。

以上でございます。

○**三輪敏之議長**

15 番 牧野圭輔議員。

○**牧野圭輔議員**

約 1 か月前の令和 6 年 1 月 22 日に開催された議会運営委員会で唐突に提案された、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例の運用方法の変更に伴い、旧中央卸売市場跡地の私有地部分の買収交渉などを与える影響について、変更前及び変更後の対応の違いを詳細にお答えください。

○**三輪敏之議長**

平田教育次長。

○**平田貴洋教育次長**

議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例の運用方法変更に伴う影響でございますが、土地については、1 件当たり予定価格 6,000 万円以上かつ 5,000 平米以上の借入れにつきましては、議会の議決が必要とされております。

運用方法の変更前は、年度ごとに取得する土地をまとめて 1 件と捉えて、議決対象となるかどうか判断しておりましたが、変更後は、契約 1 件ごとを単位とすることから、現在の土地の状況では、契約に当たっての議会の議決は不要になるものと認識しております。

以上でございます。

○**三輪敏之議長**

15 番 牧野圭輔議員。

○**牧野圭輔議員**

大きく考え方が変わりました。

質問を続けます。

今後、予算が議決されれば、旧中央卸売市場跡地約 5 万 8,400 平米のうち、現時点での私有地部分 51 筆、約 3 万 6,800 平米の地権者 44 人に対し、学校用地取得へ向けた任意の買収交渉に取り組むわけですが、買収完了の目標期限は設定されていますか、お答えください。

○**三輪敏之議長**

平田教育次長。

○平田貴洋教育次長

目標期限につきましては具体的には設定しておりませんが、令和6年度予算において、歳出予算で6年度に執行する金額を計上し、債務負担行為で、旧市場施設の解体完了時期となる令和7年度の支出予定額を計上しております。

建設計画を円滑に進めていくため、できるだけ速やかに用地取得に努めてまいります。

以上でございます。

○三輪敏之議長

15番 牧野圭輔議員。

○牧野圭輔議員

これだけ広大な土地で、地権者がたくさんおられる中で、任意の買収というのは非常にこれ困難かと思えます。

質問を続けます。

仮に任意の買収交渉が完全に行き詰まった場合、学校用地取得にはどのような対応が残されていますか、お答えください。

○三輪敏之議長

平田教育次長。

○平田貴洋教育次長

行き詰まった場合という、その条件がどういうものかということにはよるかと思いますが、現状ではこれまでご説明してきましたとおり、粘り強く交渉していきたいというふうに考えておりますので、相手方の方に理解してもらえるように努めてまいりたいというふうに考えております。

そういった、駄目だった場合というのが現状では想定をしておりませんし、考えてもおりません。

以上でございます。

○三輪敏之議長

15番 牧野圭輔議員。

○牧野圭輔議員

それでは非常に無責任だと思うんです。

市民の大切な税金を使うんですから、土地収用法に基づく事業認定の申請をし、事業認定を受けた後、土地の収用手続きに入るといふ、そういう方法があると思うんです。

昨日、塚本議員のほうからも、それに関連したことを触れられましたけども、しっかりとそこの部分についてもね、市民の皆さんに公表していかないと駄目だと思います。

質問替わります。

第2項目として、小規模特認校の取組状況について。

この項目は、1月、熊本市への行政視察を踏まえ、質問します。

小規模特認校とは具体的にどのような取組ですか。併せて、姫路市におけるこの取組は教育委員会が主導していますか、詳細にお答えください。

○三輪敏之議長

西田教育長。

○西田耕太郎教育長

小規模特認校制度は、地域の特性や少人数教育のよさを生かした教育活動を進めて、児童の心身の健康増進を図り、豊かな人間性を培うとともに、複式学級の解消など学校の活性化を図る取組でございます。

令和2年2月に策定した市立小中学校適正規模・適正配置基本方針に基づき、保護者や地域住民、学校関係者等で組織する学校地域協議会において、学校、教育委員会と地域がともに協議を行いながら、小規模特認校としての取組を進めているところでございます。

どちらが主導という概念はございませんが、取組を進める中で、学校の運営とか教育活動の推進という点で観点から見てみますと、学校と教育委員会が主導する必要があると認識しております。

また、特色ある教育活動の観点から見ると、やはり地域の方々にご協力をいただいております、今後も連携協力をしっかりと進める必要があるものと考えております。

以上でございます。

○三輪敏之議長

15番 牧野圭輔議員。

○牧野圭輔議員

小規模特認校の取組について、全国の自治体の中で姫路市が参考にした自治体はありますか、お答えください。

○三輪敏之議長

西田教育長。

○西田耕太郎教育長

参考にした市ということなんですけど、神戸市、西脇市など県内の小規模特認校を有する自治体のほか、他県でも宇都宮市など、全国の事例も参考にさせていただいております。

以上です。

○三輪敏之議長

15 番 牧野圭輔議員。

○**牧野圭輔議員**

小規模特認校を活用した転入生の令和 5 年度の実績及び令和 6 年度見込みなどについて、お答えください。

○**三輪敏之議長**

西田教育長。

○**西田耕太郎教育長**

小規模特認校は、令和 5 年度から、苧野小学校と安富北小学校の 2 校で実施しております。

令和 5 年度の転入学児童の数は、苧野小学校は 21 人、安富北小学校は 4 人でございます。令和 6 年度の転入学予定は、現時点で苧野小学校は 4 人、安富北小学校は 1 人でございます。

以上でございます。

○**三輪敏之議長**

15 番 牧野圭輔議員。

○**牧野圭輔議員**

正直しんどい数字だと思うんですけども、現状において、具体的な課題及びその原因は何ですか。

併せて、その課題解決に向けた取組状況についてお答えください。

○**三輪敏之議長**

西田教育長。

○**西田耕太郎教育長**

現状における具体的な課題につきましては、やはり苧野小学校に比べ安富北小学校の制度利用者が少ないことだと考えております。

その原因としては、安富北小学校の方が苧野小学校よりも市街地からの距離が遠く、通学時間がかかってしまうことなどがあると考えております。

その課題解決に向けた取組でございますけれども、まず、教育委員会としましては学校のよさをしっかり知っていくことが大切であり、より一層の PR 等周知に努めてまいりたいと考えております。

以上でございます。

○**三輪敏之議長**

15 番 牧野圭輔議員。

○**牧野圭輔議員**

午前中の東影議員の質問の中でも触れられてたんですけども、例えばその定住促進とか通学支援などの検討が私は必要だと思うんですけども、それについてはどうでしょ

うか。

○**三輪敏之議長**

西田教育長。

○**西田耕太郎教育長**

その件につきましては、通学支援等につきましては、スクールバス等のご提案等もあったんですけど、なかなかたくさん場所回らなくてはいけないということで、児童への負担というふうなことで、ちょっと難しいかなと思っております。

それで、定住促進というふうなことにつきましては、その関係部局といろんな形で連携しながら、いい方法がないかまた検討してまいりたいと考えております。

○**三輪敏之議長**

15 番 牧野圭輔議員。

○**牧野圭輔議員**

この質問の前に、1 月に熊本市へ行かせていただいた話をしたんですが、先ほど東影議員が、市営住宅の活用のお話もあったんですけども、熊本市は今から市営住宅の活用を検討していきたいという、そういうお言葉をいただきました。

姫路市は検討したけど駄目だって言われたんで、これ熊本市で後でできたってなったらどうなるのかなっていう、思いながら聞いてたんです。

あと、それと通学支援の件なんですけども、苧野小学校で確か姫路駅から 21 キロぐらいあるんですね。安富北で 35 キロぐらいあるんです。これ 1 日、送り迎えを 2 往復したら、もう 100 キロ以上、100 キロまでと、100 キロ以上超えてしまうような状況で、保護者が責任持って通学の支援をしないといけないのはこれ分かるんですけども、例えばガソリン代とかの支援とか、何かそういうことでも検討していただけたらと思うんですけども、いかがでしょう。

○**三輪敏之議長**

西田教育長。

○**西田耕太郎教育長**

ガソリン代等の支援というふうなお話でございますけれども、そういったことについては現在のところ考えておりませんが、今後の課題とさせていただきますと思います。

○**三輪敏之議長**

15 番 牧野圭輔議員。

○**牧野圭輔議員**

どうしても経済的な問題が出てくると思うんですね。経

済的に許される家庭と、場合によってこれそうじゃない家庭と。

仮に経済的にしんどい家庭の中で、本当は選択したいんだけど、行きたいんだけども行けないという生徒が保護者がいるようでしたら、私は非常に問題だと思ってます。

質問を続けます。

今後、既に、または5年以内に複式学級が設置される、または設置される可能性のある学校名及び対応状況について、お答えください。

○三輪敏之議長

西田教育長。

○西田耕太郎教育長

既に複式学級が設置されている小学校または今後5年以内に複式学級が設置される可能性がある小学校は、苜野、安富北は既に設置されております。それ以外に、家島、伊勢、上菅、谷内、太市、古知、山田小学校の合計9校でございます。

対応状況についてでございますが、苜野小学校、安富北小学校については、現在、小規模特認校として取組を行っております。

また、家島校区につきましては、学校地域協議会より、協議結果報告書の提出を昨年末に受けております。

さらに、林田中学校区や神南中学校区においても、学校地域協議会を設置し、隣接する中学校との統合を含めた取組方策等について協議を進めている状況でございます。

○三輪敏之議長

15番 牧野圭輔議員。

○牧野圭輔議員

取組の認知度の向上などを目的に、小規模特認校の愛称を募集することについて、お考えをお答えください。

○三輪敏之議長

西田教育長。

○西田耕太郎教育長

愛称を募集することについてでございますが、本市におきましては本年度から小規模特認校が始まりまして、かなりこの言葉も認知されてきているところでございますので、現時点で新たな愛称ということは考えておりません。

以上です。

○三輪敏之議長

15番 牧野圭輔議員。

○牧野圭輔議員

熊本市では、小規模特認校をハーモニースクールと命名し、令和6年度、来年度からスタートします。

ハーモニーには調和、たくさんのもとの同士の関係がうまくいっていることという意味がある。そういうお話で、小規模特認校という言葉があまりにも固いということで、認知を広げるためにも、柔らかい当たりのいい名称としてハーモニースクールっていうのを命名したということがあります。

いずれにしましても、苜野、安富北が小規模特認校として成功しないと後に続くところもないですし、結果的に小規模特認校を選択すれば、学校が終わってしまうという結果が出てしまうということなので、しっかり教育委員会、場合によっては市長部局に対しても、取り組んでいただかないと駄目だと思います。

最後の質問になります。

第3項目として、姫路市総合教育会議の運営及び総合教育監について。

平成27年4月、新教育委員会制度の導入と併せて総合教育会議が設置され、来年で10年目を迎えますが、その設置目的及び清元市政における年度ごとの開催回数及び協議内容についてお答えください。

○三輪敏之議長

横田高等教育担当理事。

○横田雅彦高等教育担当理事

まず、総合教育会議の設置目的ですが、地方公共団体の長と教育委員会が十分な意思疎通を図り、教育の課題やあるべき姿を共有して、より一層民意を反映した教育行政を推進することを目的に、地方公共団体の長が設置するものでございます。

次に、清元市政における開催回数でございますが、令和元年度が4回、令和2年度と令和3年度がそれぞれ3回、令和4年度と令和5年度がそれぞれ2回でございます。

協議事項としましては、姫路市教育大綱の改定、市立小中学校の適正規模・適正配置、市立高等学校の在り方、夜間中学の設置、教員の働き方改革の実現と、中学校部活動の地域移行などでございます。

以上でございます。

○三輪敏之議長

15番 牧野圭輔議員。

○牧野圭輔議員

開催回数については、特段決めがないんですね。

一方で、令和3年5月30日付で、文部科学省より、全国の教育委員会へ会議のさらなる活用を促す通知が来ているそうです。

で、皮肉な話なんですけども、令和3年度から回数が減ってるっていうのが、回数が決まってないので何とも言えないんですけども、ちょっとなんか皮肉な感じがしています。

質問を続けます。

姫路市総合教育会議には、市長及び教育委員会の構成員以外に、関係者などとして、どのような立場の人物が出席していますか、お答えください。

○三輪敏之議長

横田高等教育担当理事。

○横田雅彦高等教育担当理事

関係者等といたしまして、今年度は教育次長と、高等教育を所管する政策局の理事が出席しております。

以上でございます。

○三輪敏之議長

15番 牧野圭輔議員。

○牧野圭輔議員

過去の実績を見たんですけども、令和3年度までは副市長が出席してたんですけども、なぜ出席しなくなったんですかね。

○三輪敏之議長

横田高等教育担当理事。

○横田雅彦高等教育担当理事

総合教育会議の構成員は市長及び教育委員会と、法で規定されております。

副市長は構成員ではないことから、必ずしも会議への出席を要するものではございません。

以上でございます。

○三輪敏之議長

15番 牧野圭輔議員。

○牧野圭輔議員

先ほども言いましたけど、令和4年度、令和5年度、和田副市長の出席がなくなっています。

それまでは、以前の副市長お2人が出席されてたときもあって、ずっとこれ副市長が出席されてたんで、何となく今、違和感を感じています。

質問を続けます。

いじめ重大事態など、児童生徒の生命や身体に被害が及

ぶ緊急性の高い事態が発生した場合は総合教育会議で協議することが、地方教育行政の組織及び運営に関する法律で定められていますが、過去に協議実績はありますか、お答えください。

○三輪敏之議長

横田高等教育担当理事。

○横田雅彦高等教育担当理事

いじめ重大事態等につきましては、平成27年度に、市内中学校でのいじめ事案について、教育委員会から内容報告があり、いじめの解消に向けて取り組んでいくことが確認された実績が1件ございます。

また、令和3年度には、教員による体罰暴言事案について協議した実績が1件ございます。

以上でございます。

○三輪敏之議長

15番 牧野圭輔議員。

○牧野圭輔議員

直近では、令和5年11月18日の神戸新聞の報道で、姫路市市立小学校の男子児童がいじめ不登校、重大事態の報道があるんですけども、この案件については開催しなくていいんですか。

○三輪敏之議長

横田高等教育担当理事。

○横田雅彦高等教育担当理事

いじめ重大事案について、総合教育会議への報告を行うかどうかということにつきましては、いじめの程度であったりとか内容に応じて、教育委員会のほうで判断し、総合教育会議への報告を行うかどうかというのを判断してございます。

議員がおっしゃった件につきましては、今のところ教育委員会からそういった召集の依頼は来ておりません。

以上でございます。

○三輪敏之議長

15番 牧野圭輔議員。

○牧野圭輔議員

開かなくていいっていう判断をされたということですね。

質問を続けます。

昨年12月8日、令和5年第4回定例会における総務委員会において、組織改正の報告事項として、唐突に設置が公表された総合教育監ですが、その設置目的及び管轄する

業務についてお答えください。

○三輪敏之議長

坂田総務局長。

○坂田基秀総務局長

総合教育監は本市の喫緊の課題でございます人口減少問題に向き合い、活力ある姫路を創造していくための原動力であり、未来の創り手となる「人」を育むための総合的な教育施策を迅速かつ高度に推進していただくために設置をいたしました。

総合教育監には、高等教育、生涯現役、少子化対策及び子育て支援等に関する事務等を統括していただくことといたしております。

○三輪敏之議長

15番 牧野圭輔議員。

○牧野圭輔議員

このたび異例の対応となった総合教育監の採用は、どのような制度などに基づいていますか。

また、任期は何年ですか、詳細にお答えください。

○三輪敏之議長

坂田総務局長。

○坂田基秀総務局長

このたびの総合教育監の採用に当たりましては、地方公共団体の一般職の任期付職員の採用に関する法律に基づいて制定いたしております。

姫路市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の第2条第1項において、任命権者は高度の専門的な知識経験又は優れた識見を有する者を選考により任期を定めて採用することができる旨規定をされておりまして、この条項に基づき、特定任期付職員として採用を行ったものでございます。

任用期間につきましては3年といたしております。

○三輪敏之議長

15番 牧野圭輔議員。

○牧野圭輔議員

総合教育監に求められる専門的知識及び業務経験などについて、詳細にお答えください。

○三輪敏之議長

坂田総務局長。

○坂田基秀総務局長

総合教育監には、「人」を育むための総合的な教育施策、「人」づくりを迅速かつ高度に推進していただく必要がご

ざいます。

そのためには、加藤総合教育監がこれまで経験された教育NPO法人における実践経験や、姫路女学院における社会教育活動など教育関連分野での幅広い活動実績のほか、民間企業での勤務経験で培われた、業務を進めるためのリーダーシップやあるいは情報発信力は特に必要な能力であるとと考えております。

以上です。

○三輪敏之議長

15番 牧野圭輔議員。

○牧野圭輔議員

このたびの総合教育監の設置及び採用手続は、事前に周知され、広く公募されたものでしたか、お答えください。

○三輪敏之議長

坂田総務局長。

○坂田基秀総務局長

総合教育監の設置を、その職責、あるいはまた人口減少問題等の喫緊の課題に迅速に対応する必要性を踏まえ、可能な限り速やかに任用をするために、事前周知、公募によらない選考作業を行ったものでございます。

○三輪敏之議長

15番 牧野圭輔議員。

○牧野圭輔議員

内部人材の活用は検討されましたか。

○三輪敏之議長

坂田総務局長。

○坂田基秀総務局長

内部、外部問わず、姫路市が求める総合教育監の職責を全うし得る人材を速やかに確保すべく検討を行った上で、任用をいたしております。

○三輪敏之議長

15番 牧野圭輔議員。

○牧野圭輔議員

総合教育監が担う、姫路市における高等教育や生涯現役の推進に関わる施策のほか、子育て支援などの関連する分野における総合的な教育施策とは、具体的にどのような取組ですか。

またその取組は、令和6年度予算にどのように反映されていますか、お答えください。

○三輪敏之議長

横田高等教育担当理事。

○横田雅彦高等教育担当理事

総合教育監は局の枠組みにとらわれることなく、高等教育、生涯現役、子育て支援などに関する事務を取りまとめ、市長部局全体を統括する役割を担うとともに、関連する事務について、関係部署に横串を入れてまいります。

令和6年度予算においては、活力ある姫路を創造していくため、主要事業として取り組む「人」づくりに関わる施策を中心に、所管する教育施策を取りまとめ、組織横断的に推進していくものと認識しております。

以上でございます。

○三輪敏之議長

15番 牧野圭輔議員。

○牧野圭輔議員

総合教育監の就任時期が、既に予算編成が終わった2月1日付と、中途半端な時期をあえて選んだ理由についてお答えください。

○三輪敏之議長

坂田総務局長。

○坂田基秀総務局長

本市にとって待ったなしの喫緊の課題でございますが、「人」づくりに関連する施策を、スピード感を持って早期に押し進める必要があるとの判断から、新年度を待たずに本年1月1日に総合教育監を設置し、適任者を選考後、可能な限り早いタイミングで任用を行ったものでございます。

以上でございます。

○三輪敏之議長

15番 牧野圭輔議員。

○牧野圭輔議員

総合教育監の活躍に非常に期待しております。

総合教育監自身が本会議でのご挨拶の中でも、姫路市総合教育会議をあえて取り上げられましたので、姫路市総合教育会議における総合教育監の役割について、お答えください。

これを最後の質問とします。

○三輪敏之議長

横田高等教育担当理事。

○横田雅彦高等教育担当理事

総合教育監には、市長と教育委員会それぞれの事務権限を踏まえた上で、市長部局の立場から総合教育会議に関係者として出席していただき、これまで培われてきた教育に

関する知見や経験などを踏まえ、ご意見をいただきたいと考えております。

以上でございます。

○三輪敏之議長

以上で、牧野圭輔議員の質疑を終了します。